

第4日

令和5年6月16日（金）

午前10時零分開議

○議長（小島清人君） 皆様、おはようございます。これより本日の会議を開きます。

なお、本日の出席議員は18名で、会議は成立いたします。

議事日程表をお開きください。本日の議事日程については、タブレットに掲載のとおりであります。御了承願います。

日程に従い、一般質問を行います。

質問通告者及び順位は、タブレットに掲載のとおりであります。申し合わせにより、1人当たりの質問時間は答弁時間を含めて60分以内となっております。御了承願います。

一般質問通告書をお開きください。

それでは、最初に、6番徳永秀俊議員の質問を許可します。6番徳永秀俊議員。

（6番徳永秀俊君登壇）

○6番（徳永秀俊君） 皆様、おはようございます。6番議員公明党の徳永秀俊でございます。市民の皆様の温かい御支援を頂きまして、2期目の議員として活動をさせていただいております。本当にありがたいことであり、身の引き締まる思いであります。新たな気持ちで皆様のお役に立っていく決意であります。このたびは、選挙後初の一般質問におきまして第1番目に一般質問をさせていただく機会を頂き、大変うれしく思っております。今後の議員としての私の活動の中心軸としまして、市民の方々の小さな声をしっかりと聞く「聞き力」を鍛えに鍛え、常に自身の未熟さを忘れずに、日々の鍛えを怠らず、初心を忘れることなく、この朝倉市をどこよりも住みやすい市にしていく、市外の方々からも移住したいまちナンバーワンとさせていただける本市になるよう、懸命に尽力をさせていただくと決意をしております。

ところで、話は変わりますが、世界的企業であるAmazonがなぜ独り勝ちをしているのか、皆様御存じでしょうか。私も近頃本で知ったんですけども、それは、一言で言いますと、人に喜んでいただける5つのポイントを押さえているからだそうです。その5つのポイントとは何か。

1つ目は、気配りだそうです。一言添えるだけで人の不安感を減らせます。今の私にはちょっと不足しているところがありますから、今後しっかり見習ってまいりたいと思っております。2つ目は、優しいまなざしだそうです。そして、3つ目が、お客様を第一に考えること、人に対する優しさです。そして、4つ目が、人を歓迎する。朝倉市でいえば外から入ってくる人を歓迎、そういった意味かもしれません。5つ目は、Amazonのロゴを見れば分かりますけれども、それは笑顔だそうです。この5つに共通していることは何でしょうか。私は、お金があまりかからないけれども効果は絶大ということだと思っております。身近にある食べ物屋さんや車屋さん、コンビニやスーパー、多くの方は笑顔が

すてきなお客様思いの店を選ぶことだと思います。

こうした思いを少し念頭に置きまして、本市における移住定住の促進、地方創生を心の中心軸におきまして、今日は7つの質問をさせていただきたいと思っております。

これより先は質問席に戻りまして質問をさせていただきます。執行部の皆様、よろしくお願い申し上げます。

(6番徳永秀俊君降壇)

○議長(小島清人君) 6番徳永議員。

○6番(徳永秀俊君) 最初に、目に見える物価高騰対策につきまして質問をさせていただきます。

現在やっとコロナ禍が沈静化しつつなってきたわけでありますけれども、物価の高騰はまだまだ続きそうな心配でございます。今年の3月の議会でも一般質問の中で目に見える物価高騰対策の質問をさせていただきましたが、給食費の3月までの無償化、地域振興券の活用、非課税世帯への支援、中小企業への支援等、多岐にわたって朝倉市はいろいろな支援を行ってきていただいております。

そうした中、今回は一般家庭における燃料代に関しまして質問をさせていただきます。

プロパンガスに関しまして、コロナ禍前の2019年と比較して2023年3月28日時点のこれは速報値でございますけれども、九州・沖縄のガス代金の推移は10立米当たり、2019年が7,866円だったものが2023年には8,945円と約1,080円上がっております。これが、仮に4人家族の家庭で見ますと、月当たり11.3立米平均お使いになるようであります。年額にしますと1万4,640円ほどのアップでして、今あらゆるものが高騰している現在、子育て世代それから高齢者の年金生活をされている方々はじめ市民の多くの方々が収入がなかなか増えない中、大変なやりくりをされているものと思っております。今オール電化住宅も増えてまいりましたけれども、今現在プロパンガスをお使いの世帯がこの朝倉市に何世帯ぐらいあるんでしょうか。

○議長(小島清人君) 企画振興部長。

○企画振興部長(三浦弘己君) 御質問の市内のLPガスの利用世帯数についてということでございますが。

福岡県LPガス協会の直近の調査が5年前になるんですけれども、平成30年7月末時点で朝倉市内のLPガスを利用している一般家庭は1万4,722世帯となっております。以上でございます。

○議長(小島清人君) 6番徳永議員。

○6番(徳永秀俊君) どうもありがとうございます。

このプロパンガスをお使いの1万4,722世帯の家庭に対しまして、この高騰分の対応は朝倉市としましては現在何かお考えがあられますでしょうか。

○議長(小島清人君) 企画振興部長。

○企画振興部長（三浦弘己君） 対応ということでございます。

地方創生臨時交付金を活用しました物価高騰対策につきましては、国、県、市がその実情に応じて種々対応を講じてきたところでございます。

L Pガスの対応につきましては、朝倉市を所管しますL Pガス協会と協議を行い検討してきたところでございますが、そのような中、福岡県が公表しました6月補正予算におきましてL Pガス料金高騰対策支援費が計上をされております。その詳細につきましては、公表はされていないんですけども、1世帯当たり2,000円を上限に使用世帯の負担を軽減すると聞き及んでいるところでございますが、その手順というものがまだ具体的に示されてはいないところでございます。

そのため、朝倉市としましては、これからの福岡県の実施方法等を研究しながら、引き続きL Pガス協会と協議を続けまして、実施の有無及び実施する場合のスキーム——実施方法や手順——そういったものについて詰めていくこととしているものでございます。以上でございます。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） どうもありがとうございます。もう現在進めていただいているというふうに聞きました。今現在、本当10立米当たり9,000円になろうかとの高騰でありまして、できるだけ早急に支援をお願いしたいと思っております。よろしくお願いを申し上げます。

続きまして、そしたら次の質問に移らせていただきます。

給食費の補助につきまして、お伺いをいたします。

朝倉市は、昨年12月より今年3月までの4か月間、物価高騰対策といたしまして、小中学校の給食費の全額補助を実行していただきました。子育て世代の家庭にとっては、本当に経済的に助かった、的を射た支援策であると感謝をしております。

厚労省の発表によりますと、全国で2021年の出生数は81万1,604人で過去最少となり、前年より2万9,231人少なく、国の推計よりも6年も早く81万人台に突入、少子化加速が鮮明になり、少子化対策は喫緊の課題となっております。

本市を見ましても、2021年と2011年を単純に比較しましても、2011年が435人の出生数に対しまして、2021年が292人と、143人、約33%も出生数が減少しているのであります。

現在、コロナ禍や長引く物価高騰を受け、子育て世代も負担が増す中、さらなる支援が求められると思いますが、この点、本市はいかがお考えでしょうか。

○議長（小島清人君） 教育部長。

○教育部長（隈部敏明君） 学校教育に対する考え方につきましては、令和4年度の事業の紹介によりお酌み取り頂ければと思います。

令和4年度に実施しました事業は、3件です。

1つ目は、朝倉市学校教育費補助金です。平成31年度から継続して実施している事業で、

小中学校ともに1人当たり月額300円を補助しています。

2つ目は、朝倉市食材費高騰に対する学校給食費補助金です。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とし、物価高騰に伴う不足分を保護者の負担増としないために行った事業です。年度途中の補正予算対応となりましたが、令和4年4月に遡り令和5年3月までの1年間実施しています。補助額は、1人当たり小学校で年額2,500円、中学校で年額4,100円です。

3つ目は、朝倉市学校給食費負担軽減事業に係る補助金です。これも新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とし、令和4年12月から令和5年3月までの4か月間、保護者負担額を全額補助とした事業です。補助額は1人当たり小学校で1万5,200円、中学校で1万7,600円です。

これらの給食費補助によって、急激な物価高騰による子育て世帯の負担の軽減について支援ができたと考えております。

また、少子化対策については、本市においても喫緊の課題と認識しておりますので、市全体で今後も継続した取組を進める必要があると考えております。以上です。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） ありがとうございます。しっかり昨年も対応していただいたのがよく分かりました。

今後、給食費の補助といいましても一番ネックになるのはやはり財源ではないかなと思っておりますが、自治体によっては臨時交付金を使う、または自主財源を使うと、食材費の価格高騰分を補填しているとか、半額補助するですとか様々ですが、自主財源が多いところは給食費の完全無償化、それから第2子、第3子が無償化する、そういったような動きがございますけれども、本市としましては今後どのように考えてありますでしょうか。

○議長（小島清人君） 教育部長。

○教育部長（隈部敏明君） すみません、先ほどの発言に対しまして1点訂正がございます。

1つ目の朝倉市学校教育費補助金と申し上げましたけども、学校給食費補助金の間違いでございました。すみません、訂正いたします。

先ほどの議員の質問に対しましてお答えを申し上げます。

令和5年度は、給食物資の価格高騰による影響から保護者負担金の増額が必要な状況となりましたが、先ほど御説明しました朝倉市学校給食費補助金に、増額分となります小学校で月額300円、中学校で月額400円を上乗せしまして、保護者負担分を据え置くという対応をしております。

なお、昨年度の食材費高騰に対する補助や4か月の全額補助については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源としたものでしたが、今年度の増額分上乗せにつきましては、現時点では一般財源を使用しております。

また、本年4月から牛乳代が値上がりしていることから、牛乳代の価格高騰分に対する支援として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、牛乳1パック当たり6円の補助を実施するよう、今議会において補正予算を上程しているところでございます。以上です。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） ありがとうございます。牛乳の補助をされるということで聞きました。今後とも、もっと手厚く手を打っていただければと思っております。よろしく願いを申し上げます。

続きまして、次の質問をさせていただきたいと思えます。

山田堰周辺の環境向上につきまして質問をさせていただきます。

これは、私は2回ほど過去に質問をさせていただきました。現在、山田堰は、故中村哲医師の記念碑も2基建てられ、三連水車の里あさくら内にも山田堰と水車群の案内看板も設置をされ、また山田堰及び中村哲医師について学ぶことを補助の要件とすることにより、山田堰の教育コンテンツとしての価値を全国に広めることを目的として補助金を交付する事業もスタートいたしました。こうした積極的な関係交流人口の増加を促す動きは、大変うれしく思っております。

少しずつ、しっかりと、確実に山田堰周辺の環境整備を進めていただいているわけでありましてけれども、たくさんの方をここに招き、じっくりと見学をし、その価値を感じていただく。そのためには、私はもう一つ必要最低限にも、落ち着いて学べる環境整備が必要であると考えております。すなわち、必要最低限のトイレの設置でございます。

前回の質問に対しまして、費用もかかり、場所的にもかなり厳しいとの見解でございましたけれども、知恵を絞り、できませんではなくて、どうすればそれがかなうようになるのか、このように考えられませんか。この分の質問します。お願いいたします。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 350年余のかんがい施設の歴史を持ちます山田堰は、水車群、堀川用水とともに世界かんがい施設遺産として登録されておりまして、故中村哲医師のアフガニスタンでの大偉業のモデルとされた施設でございます。

また、現役かんがい施設で歴史的農業遺産でもあり、国際的に貢献している朝倉市が誇りとするかんがい施設であるというふうに認識しているところでございます。

商工観光課が実施しております山田堰教育コンテンツ修学旅行等補助事業によりまして、児童生徒が修学旅行において山田堰及び中村哲医師について学ぶ教育コンテンツとして、また観光資源としてその価値は高まっているというふうに考えております。施設を訪れる方々は、コロナ禍においては、ボランティア団体案内分が年間約1,900人から1,200人台へと推移してございましたが、歴史的水利施設を学ぶ取組の中で、令和3年には約2,200人台に増加している状況でございます。

施設見学者対応としてのトイレの設置につきましては、諸々検討しているところでございます。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） どうもありがとうございます。諸々検討しているというのは、もうちょっと詳しくいいますと、どういうことでしょうか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 設置場所でございますり、あと地元の皆さんの意向を聞くといったところで、設置の可能性について検討しているところでございます。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） まだ、はっきりちょっと前向きじゃないような気がしたんですけども、近い将来、それだったらトイレを設置しようという方向性に向かって検討していますというふうに考えてよろしいでしょうか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 先ほども申しましたように、観光される方も増えているということで、トイレの重要性については認識しているところでございますので、それに向けて調査研究をしているところでございます。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） ありがとうございます。前向きに検討していただいているというふうに捉えまして、次の質問をさせていただきたいと思っております。

交通公園の積極的な運用につきまして質問をさせていただきます。

交通公園は、去年の4月24日にオープンをし、現在1年を過ぎたところでございます。主に、自動二輪車などの運転技術を体得する場を提供し、もって地域の活性化に寄与することを目的に造られました。

まず、現在の利用状況を教えてください。

○議長（小島清人君） 企画振興部長。

○企画振興部長（三浦弘己君） 現在の交通公園の利用状況についてということでございますが。

議員が先ほどおっしゃられましたように、交通公園は昨年4月24日にオープンをいたしましたところでございます。開園当日は、前日からの天候不良によりまして残念ながらオープニングセレモニーを中止しておりますが、一般開放を待ちわびておりました約50人の方が早速利用されたところでございます。

これまでバイク関連情報誌など取材も複数受けておまして、雑誌それからインターネット上でも多数掲載をしていただいているところでございます。おかげをもちまして、利用者は県内に限らず九州、中国地方それから遠くは関西方面からの利用も見受けられるところでございます。

お尋ねの利用状況につきましては、1日中利用される方、それからツーリングの途中に立ち寄られて短時間で利用される方など利用形態が様々でございまして、正確な利用者数はちょっと把握できていないところではございますけれども、ただ交通公園の設備の管理とか状況などの確認のために、職員が不定期ではありますが現地確認を行っております。その際の利用状況から考えますと、天気とか天候、季節とかに影響されるところではあるんですけれども、最近は平日でも数台から十数台、土日それから祝日となりますと30台から40台程度の方たちの利用が見受けられる状況でございます。入れ替わりなどを考慮しますと、休みの日になりますと1日100台以上の利用があるものと思っております。以上でございます。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） どうもありがとうございます。結構使っていただいている方が多いんじゃないかなという印象を受けましたが。

たくさんの市民の方々といろいろなお話をする中で、その中のお一人なんですけど、大変バイクの好きな方がいらっしやいまして、こんな質問を頂きました。私はバイク好きが高じまして、現在バイクの修理や塗装などを仕事にしていますが、たくさんのバイクの仲間があちこちたくさんいます。あの交通公園で何か楽しいイベントみたいなことがやれたらいいなとみんなで話しているんですけれども、そういうことは朝倉市は何か考えてあるんでしょうかねということなんです。

それを私は聞いたときに、この山の中にある交通公園が、朝倉市を活性化させてくれる大きな関係人口の交流の場になればすごいなと思いました。

率直に伺いますけれども、今以上にそうしたイベントや催し、そういったものをたくさんの人に開放できる活用は考えてあるかどうか、御質問します。

○議長（小島清人君） 企画振興部長。

○企画振興部長（三浦弘己君） 交通公園を活用したイベントの開催ということについてお答えいたします。

二輪車専用の交通公園として全国的にも珍しい公園ということもございまして、運転技術向上を目指した来場者が今でも絶えない状況でございます。また、ツーリングコースとしての利用の多い国道500号沿いということもありますので、福岡都市圏、大分県、佐賀、熊本など九州北部の方を中心に、県内外の多くの利用者で現在にはぎわっておるところでございまして、バイクの運転技術向上だけでなく、趣味を通じた交流、それから水源地を知っていただく、それから水源地との交流も期待をしているところでございます。

利用者の方々にはSNSなどを使った情報発信もしていただいております。その情報を基にまた来場していただいているという方も多いと聞いております。副次的に朝倉市の魅力発信に寄与していただいているところでございます。

市としては、今後もできるだけ多くの方に交通公園をまずは知っていただいて、体験を

していただきたいと思っところでございます。

一方で、議員が先ほどおっしゃいましたように、バイクメーカーとか販売店、そういったところからのイベント開催などについての問合せということも相談を多く頂いているところでございます。ダム湖畔が見える景観のいい場所でもございますので、より多くの方に訪れていただけますよう、今後の利用状況をちょっと見ながら、議員御提案の活用についても検討しているところでございます。以上でございます。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） ありがとうございます。たくさんの市民の方々のお声をいい方向に活性化できるように、実現をいち早くしていただければと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、次の質問をさせていただきたいと思います。

公共の男性トイレへのサンタリーボックスの設置につきまして質問させていただきます。

前立腺がんや膀胱がんの患者さんらが使用済みの尿漏れパッドを捨てるサンタリーボックスを男性トイレの個室に設置する動きが、自治体の公共施設や商業施設で広がっております。一例を申し上げますと、ちょっと遠いんですけど、埼玉県では昨年6月までに225か所ある県有施設の男性トイレ、これは多目的トイレも含まれますけれども、そちらへのサンタリーボックスの設置率が100%を達成したそうであります。国立がんセンターが2018年にまとめた統計によりますと、前立腺がんと診断された男性は9万2,000人、膀胱がんは1万7,500人に上ります。これらのがんは、手術後、頻尿または尿漏れの症状が起きやすくなります。このため、手術を受けた男性は尿漏れパッドを着用することが多い。ですけれども、尿漏れパッドを着用している男性からは恥ずかしさからなかなかこれはもう声が上げられない。また、その一方、当事者以外の男性の方々には問題意識を持ちづらいと、そういったふう感じております。

今現在の朝倉市の現状を教えてくださいませんか。

○議長（小島清人君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） まず、市役所庁舎等ですけれども、支所を含む市役所庁舎等におきましての御説明をさせていただきたいと思います。

本庁舎におきましては、地階から5階までの各フロアの男性用トイレ及び地階、1階フロアに設置しております障害のある方、車椅子使用者、高齢者、子ども連れ等の多様な人が利用可能なみんなのトイレにはサンタリーボックスを設置しております。

また、朝倉支所、杷木支所においては、両支所ともに1階フロアに設置しているみんなのトイレには設置しているものの、通常の男性用トイレには設置できていない状況でございます。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） ありがとうございます。朝倉市は、私の思っている以上に進んで



いるところもあるんじゃないかなと思いましたが、まだつけられていないところもあると思うんです。そういったところをもう一回点検していただきまして、検討していただければいいと思います。

今後は、取組はどんなふうにか考えていただけませんかでしょうか。

○議長（小島清人君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 市の管理する施設のトイレはいろいろとございますけども、今後、庁舎また文化施設、公園等の市の公共施設において、利用の多い施設から随時設置を進めていきたいというふうに考えております。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） どうも前向きの答弁ありがとうございます。こうした一見ささいなことと感じられることを一つ一つ丁寧に考えていただいて、実現をしていただきたいと思っております。よろしくお願いを申し上げます。

続きまして、次の質問であります。

運転免許証自主返納者への自転車ヘルメットの無償提供について質問をさせていただきます。

私ごとでございますけれども、先月交通事故に遭いまして、左側面から来た車と私の車が接触をし、私は車ごと1メートル下の田んぼに落ちました。車は全損いたしましたけれども、幸い軽傷で済みましたので、よかったと思っております。相手の方が85歳の方で、見舞いに来られまして、もう車は乗りませんとおっしゃいました。そして、自転車でおいでになりました。

私は、高齢者の自主返納者が今後朝倉市では大変増えてくるのではないかなと思っておりますが、現在、本市でもその一助として1万円相当の回数券またはn i m o c aを進呈されておると聞いております。大変ありがたいことですが、自転車も交通の一つとして今後利用される方が増えると思えます。

ヘルメット着用は現在努力義務ですが、安全に越したことはないと思うんです。これを機に、ヘルメット着用を進めるためにも、免許証を返納される方を対象に、交通事故の抑制と自主返納促進を目的としてヘルメット提供を考えていただけないかというのが、私の質問でございますが、いかがでしょうか。

○議長（小島清人君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 議員おっしゃいましたように、令和5年4月1日から自転車の乗車用ヘルメットの着用が努力義務となっているところでございます。

本市の運転免許証の自主返納事業としましては、平成25年度から、より安全に移動できる公共交通の移動支援と利用促進を主な目的として推進しているところでございます。

申請者数は、近年で年間180人程度で推移しており、今後増加していく可能性も十分に想定される中、1万円相当のICカードまたはコミュニティバス等の回数券を令和4年度

までの10年間で約1,400人の方に交付している状況です。

ヘルメットの補助につきましては、確かに近場であれば自主返納者の自転車利用増加が見込まれるかもしれませんが、今後の県や近隣自治体等の状況を見ながら、交通事故防止や抑制の観点で検討、判断していきたいと思っております。

当分の間、市としましては、朝倉警察署や交通安全協会等と連携して、高齢者だけでなく市民のヘルメット着用率の向上に向けた働きかけを行い、交通事故防止に努めていきたいというふうに考えております。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） どうもありがとうございます。ヘルメット着用も、今後やっぱり事故が起きたときに本当に身を守ってくれる大事なツールになると思いますので、ぜひとも前向きに。本当は、自主返納者だけじゃなくて全体で進めてはどうかということを知ろうと思ったんですが、それだと財源があまりにもかかり過ぎますんで、こういったいい機会ですから、もう一度、自主返納者に対してヘルメットの提供を考えていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

続きまして、不燃ごみの回収の仕方につきまして質問させていただきます。

現在、不燃ごみは毎月1回程度、各地域で場所と時間を決め、15種類に分け分別収集をされておりますが、これからさらに高齢化社会が進んでまいりますと、受け入れる側、いわゆる分別収集に立ち会って担当されている方、そういった方の人の問題、その場所に持ち運ぶにもできなくなることも考えられます。また、いわゆるコミュニティに属していないアパート住まいの方、子育て世代で共働きでそういった時間が取れない方、そのほかいろんな事情で時間が取れない、特に持ち込めない方、同じ地域の方にプライバシーをのぞかれない方は、あまり持ち込まないのではないかと考えております。

多くの方とお話をしております。特に朝倉市外からおいでになられた方にお話を伺ってみましたら、普通のごみを出すみたいに前住んでいたところは出していましたと、違和感を述べられました。袋に入れて燃えるごみみたいに出す出し方も、今後、高齢化やアパート住まいの方、時間が合わない方には喜んでいただけるのではないかと思います。ちょっと市の見解をお願いしたいと思っております。

○議長（小島清人君） 市民環境部長。

○市民環境部長（石田裕二君） 朝倉市の不燃ごみ、資源ごみも含めて説明をさせていただきたいと思っておりますけども。

資源ごみ、不燃ごみにつきましては、現在ステーション回収方式で行わせていただいております。収集箇所数につきましては、市内全体で273か所で行っております。

また、議員言われますように、分別の種類につきましては15分類で行っているところでございます。この15分類につきましては、甘木・朝倉・三井環境施設組合——サン・ポートでございますけども、そちらのほうに持ち込む分類と合わせているというところで実施

をしているところでございます。

御質問のように、可燃ごみと同じように袋に入れて回収ができないかという御意見でございますけれども、袋で回収をしているところの自治体を調べますと、おおむね3種類から5種類の分類に分けて回収されているところが多いと。これは、確かに近いところに出せるという利点はあるんですけども、その箇所に可燃ごみと違って分類が数多い状態で袋で回収というのは、置く場所も含めましてなかなか難しい状況もあるというふうに認識しているところでございます。

また、5種類で分別しているというところの状況を尋ねてみますと、それは同じサン・ポートに持ち込んでいる自治体でございますけれども、5種類で回収をいたしまして一度15分類に分け直しているという形で、サン・ポートに持ち込んでいるということで、当然それに必要となります作業スペースの確保、またそこにかかる費用の増大というものは間違いなく出てくるものというふうに考えております。

また、朝倉市といたしましては、分別意識を市民の皆様に高めていただきまして、再利用というようなところも進めていきたい考えもございますので、また経費面でもできるだけ抑えたいというところがありますので、現在の方法を取っているというような状況でございます。

議員言われますように、区に属していない方や資源ごみ、不燃ごみについての月1回ではなかなか収集時間に持っていけないという意見がございますのも実際耳に入っているところではありますけれども、そういった場合にはサン・ポートのほうへ直接搬入するということができますので、費用は発生するんですけども、それも一つの方法として利用していただけたらというふうに考えているところでございます。

高齢者の方が持っていくのも大変だということも、もちろん自分の地元でも耳にしますし、近所の方の協力があって成り立っているというところも感じているところではございますけれども、全ての御意見に対して十分な対応ということではないかもしれませんが、今回の意見につきましては貴重な御意見として今後も考えていかなければならないというふうに思っているところでございます。以上でございます。

○議長（小島清人君） 6番徳永議員。

○6番（徳永秀俊君） どうもありがとうございます。

今現在とこれから、例えば5年、10年先のことを考えますに、例えばもっと高齢化が進んでいくと、こういった子育て世帯の方にもっと朝倉市に住んでもらいたいと、いろんな条件が出てまいりまして、ごみ出し一つもいろいろ考えさせられるんですけども、いかにしたら、今そういった置き去りにされているという言い方はちょっとあれなんですけど、そういった方たちをどうやってこっち向いていただけるかといいますか、しっかりフォローができるか、それを考えていただければと思っております。

私もいろんな方に聞きましたら、確かにそうだよね——いい点と悪い点確かにあるんで

す。物事ですから当然そうだと思います。ですけど、そういった家の前に、家の近くに置けるような方式というのもやっぱり検討の一つとして、今後考えていく必要があるんじゃないかなと思いますので、ぜひとも検討をお願いしたいと思っております。

これで、私の一般質問は終了いたします。本当にありがとうございました。

○議長（小島清人君） 6番徳永秀俊議員の質問は終わりました。

暫時休憩いたします。10時55分に再開いたします。

午前10時42分休憩